

## インフルエンザの患者さん・ご家族の皆様へ

### 「鳥取県とその周辺地域に流行するインフルエンザウイルスの性状解析」について

#### はじめに

鳥取大学医学部ウイルス学分野では、倫理審査承認後から 2027 年 10 月 31 日までにインフルエンザと診断された患者さんを対象に、患者検体（鼻汁）をもとに鳥取県と周辺地域に流行するインフルエンザウイルスの性状を解析し、新しいインフルエンザウイルス治療方法を開発することを目的とした研究を実施しています。

この研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会の審査と、医学部長の承認を受けています。詳細は以下のとおりです。

#### 1. 研究概要および利用目的・方法

本研究では、インフルエンザの拡大防止のために、鳥取大学医学部ウイルス学分野において、患者さんの鼻汁からウイルスを分離し、ウイルスの性状を研究します。全ての情報は、鳥取大学医学部ウイルス学分野で集計されます。また、検体は、鳥取大学医学部ウイルス学分野でウイルス量の算定、ウイルス遺伝子配列の決定を行います。なお、情報・検体は、研究責任者が責任を持って保管、管理します。

なお、本研究に参加される患者さんは、他の研究参加者への個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される方は、下記の間合せ窓口にお申し出ください。

#### 2. 取り扱う情報

患者氏名は鳥取県内の医療機関（鳥取大学医学部附属病院及び【11. 問い合わせ窓口】記載の試料情報提供機関 計 3 機関）で匿名化された後、検体が鳥取大学医学部ウイルス学分野に到着します。検体採取日・検体採取部位を情報として集めさせていただく場合があります。

#### 3. 研究期間

この研究は、鳥取大学医学部長が研究の実施を許可した日から 2027 年 10 月 31 日まで行う予定です。ただし、必要が生じた場合は、鳥取大学医学部倫理審査委員会の再審査を受け、研究期間を延長する場合があります。

#### 4. 個人情報保護の方法

患者さんの検体は、研究責任者が責任をもって保管・管理します。氏名を含む個人情報は鳥取県内の医療機関（鳥取大学医学部附属病院及び【11. 問い合わせ窓口】記載の試料情報提供機関 計 3 機関）で匿名化され、検体番号のみを使用して区別します。このようにして、患者さんの個人情報の管理については、十分に注意を払います。

\*匿名化について：本研究にご提供いただく情報については、患者さんの氏名、住所、電話番号、カルテ番号など、患者さん個人を直ちに特定できるような情報をすべて削除し、代わりにこの研究用の登録番号をつけます。なお、研究の過程で情報がどの患者さんのものかを知る必要がある場合も想定されます。その場合に備えて、情報と患者さん個人を結びつけることのできる対応表を作成させていただきますが、この対応表は研究責任者によって鍵のかかる保管庫で厳重に管理されます。

#### 5. 研究への情報提供による利益・不利益

**利 益：**今回の研究に情報をご提供いただいた患者さん個人には、特に利益と考えられるようなことはありませんが、研究の成果は、将来のインフルエンザの拡大防止のために有益となる可能性があります。なお、情報を使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

**不利益：**収集内容が検体（鼻汁）や検体採取日・検体採取部位など通常診療の過程で得られる情報のみに限定されるため、特に不利益と想定される事項はありません。

#### 6. この研究終了後の情報の取り扱いについて

研究終了後は、患者さん個人を特定できない状態にして適切に廃棄します。

#### 7. 研究への情報使用の取り止めについて

患者さん個人の検体・情報を研究に用いられたくない、または、検体・情報の提供を停止したい場合には、いつでも取り止めることができます。取り止めを希望された場合でも、担当医や他の関係者と気まずくなることはありませんし、何ら不利益を受けることはありません。未成年の患者さんについては、保護者（父母、成人の兄弟、祖父母、同居の親族などの近親者）からの研究への情報使用の取り止めに対応いたします。

検体・情報使用の取り止めの場合には、下記【11. 問い合わせ窓口】までお申し出ください。

取り止めの希望を受けた場合、個人を特定できない状態にして、速やかに検体・情報のすべてを廃棄させていただきます。しかし、取り止めを希望した時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

#### 8. 当該臨床研究に係る資金源について

本研究は、鳥取大学医学部ウイルス学分野の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

## 9. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人が特定される情報は、全て削除して公表します。情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報明らかにすることはありません。

## 10. 知的財産権の帰属について

本研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性があります、その権利は鳥取大学に帰属し、患者さんには帰属しません。

## 11. 問い合わせ窓口

本研究についてのご質問だけでなく、患者さんの検体・情報が研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、患者さんの検体・情報の使用を望まれない場合など、この研究に関することは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

### 【試料情報提供機関】

つちえ内科・小児科クリニック 代表医師 土江 秀明  
〒684-0011 鳥取県境港市相生町 114  
TEL：0859-42-3031

さのこどもクリニック 院長 佐野 仁志  
〒683-0846 鳥取県米子市安倍 346-1  
TEL：0859-21-5797

### 【研究責任者】

鳥取大学医学部ウイルス学分野 准教授 金井 亨輔  
〒683-8503 鳥取県米子市西町 86  
TEL：0859-38-6474/FAX：0859-38-6080

＊この研究に関する情報は、鳥取大学医学部附属病院のホームページに掲載しております。（URL：<http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/introduction/3107/>）